

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市営橋本駅北口第1自転車駐車場他13施設
指定管理者名	相模原市まち・みどり公社、NCD運営共同事業体 (構成団体:公益財団法人相模原市まち・みどり公社、日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社)
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日
施設設置条例	相模原市営自転車駐車場条例
施設の設置目的	駅周辺における自転車及び原動機付自転車の駐車秩序を確立し、自転車及び原動機付自転車を利用する者の利便を図る。
施設概要	橋本駅北口第1自転車駐車場、橋本駅北口第2自転車駐車場、橋本駅南口第1自転車駐車場、橋本駅南口第2自転車駐車場、相模原駅北口自転車駐車場、相模原駅南口自転車駐車場、矢部駅北口自転車駐車場、淵野辺駅南口第1自転車駐車場、淵野辺駅南口第2自転車駐車場、相模大野駅北口自転車駐車場、谷口北口自転車駐車場、谷口南口自転車駐車場、相模大野駅西側自転車駐車場、相武台前駅北口自転車駐車場
施設所管課	都市建設局 土木部 路政課

2 管理実績

項目(単位)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数合計(人)	9,599,910	9,454,416	7,859,733	8,090,170	8,467,806
利用料金合計(円)	545,001,490	532,609,490	426,556,040	448,434,190	477,019,980
利用率(%)	98.8%	98.8%	81.9%	84.2%	89.0%

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
C	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う取り組みとして促進された、テレワークの推進等外的要因が影響していると考えられるが、利用者数は前年度より約38万人増加したものの、達成度が80%以上90%未満であることから、C評価とするもの。

指標	
指標名(単位)	自転車駐車場(14施設合計)の利用率(%)
指標式と指標の説明	利用台数/365日/収容台数×100

項目(単位)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値(%)	95.6	94.4	99.6	99.6	99.5%
実績値(%)	98.8	95.5	81.9	84.2	89.0%
達成度(%)	103.3%	101.2%	82.2%	84.5%	89.4%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	自転車駐車場専用ホームページ内の満空表示の掲載や、特殊な自転車・バイクへの駐車スペースの継続的な確保など、利用者サービスの向上に資する事業に積極的に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症の影響により近年中止となっていた、まち美化・路上喫煙防止合同キャンペーンへの参加等、地域社会へ貢献する取り組みを積極的に行った点についても評価できる。目標値に対する達成度が100%以上125%未満となったことから、A評価とするもの。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし	—	—	

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし	—	—	

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
チリン・デー	9月5日 10月5日	淵野辺駅南口第1自転車駐車場、淵野辺駅南口第2自転車駐車場にて実施した。	○
市営自転車駐車場専用ホームページの運用	通年	ホームページに満空表示を掲載し、利便性向上を図った。	◎
広報媒体を活用した情報発信	10月	応急手当講習会の様子が新聞に掲載された。	○
自転車賠償責任保険等の案内	通年	自転車賠償責任保険の案内用チラシを全施設で配布を行った。	○
外国語の利用案内の掲示	通年	継続して実施した。	○
救急用品の常備	通年	継続して実施した。	○
筆談ボードの設置	通年	継続して実施した。	○
ラック利用時の利用サポート	通年	継続して実施した。	○
特殊な自転車・バイクへの駐車スペース確保	通年	橋本駅南口第1自転車駐車場、橋本駅南口第2自転車駐車場、相模大野駅北口自転車駐車場、谷口南口自転車駐車場にて駐車区画を見直した。	◎
ルールブックの配架	通年	継続して実施した。	○
オープン型宅配ボックスの設置	通年	相模原駅南口自転車駐車場、相模大野駅北口自転車駐車場、淵野辺駅南口第2自転車駐車場、相武台前駅北口自転車駐車場に継続して実施した。	○
コインロッカーの設置	通年	継続して実施した。	○
修業者案内サービス事業	通年	継続して実施した。	○
電動式空気入れの提供	通年	継続して実施した。	○
雨合羽・ワイヤー錠等の販売	通年	継続して実施した。	○
自動販売機の設置	通年	継続して実施した。	○
レンタサイクル事業	通年	相模原駅南口自転車駐車場にて新たに電動アシスト付き自転車の貸出しを開始した。	◎
交通マナー啓発絵画の展示	通年	継続して実施した。	○
翻訳機導入による多言語対応	通年	継続して実施した。	○
みどりいっばいの取組み	通年	継続して実施した。	○
防災訓練への参加	11月	橋本地区の防災訓練を実施した。	○

献血への呼びかけ運動	通年	献血の呼びかけについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが献血ポスターの掲示等の協力を行った。	○
橋本ペデストリアンデッキの清掃への参加	12月	橋本駅ペデストリアンデッキ周辺の清掃等を実施。	◎
まち美化・路上喫煙防止合同キャンペーンへの参加	5月、10月	橋本地区のクリーン作戦に参加。	◎
東日本国際親善マラソンへのレンタサイクルの貸出	10月	東日本国際親善マラソンについては新型コロナウイルス感染中止となったが、東日本ハーフマラソン&駅伝へのレンタサイクルの貸出を行った。	◎
相模川クリーン作戦への参加	10月	相模川クリーン作戦に参加。	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	コロナ禍においては利用者満足度調査の実施方法についても工夫が求められるところであるが、自主事業にて運用を開始した専用サイトにてWeb上でのアンケートを導入した点が評価できる。実績値についても、昨年より若干減少したものの引き続き高評価を得ており、目標値に対する達成度が100%以上110%未満となったことから、A評価とするもの。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和4年12月9日(金)から令和4年12月23日(金) サンプル数:1,519枚
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「どちらかといえば満足」の合計の割合

項目（単位）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値（%）	91.5	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	93.1	98.1	96.5	97.4	96.7
達成度（%）	101.7%	109.0%	107.2%	108.2%	107.4%

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	各施設の事務所前に意見箱を設置し、利用者からの意見や要望等を随時受付、対応に努めている。
ホームページのお問い合わせ	通年	自転車駐車場ホームページのお問い合わせフォームにて利用者からの意見や要望等を随時受付、対応に努めている。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	令和3年度は本体事業収支が赤字となっていたが、令和4年度において本体事業収支、全体事業収支ともに黒字とすることができた点について高く評価できる。 委員会意見として、主な管理団体である相模原市まち・みどり公社の収支が赤字であることから、経営状況に若干の懸念があるとの評価となった。以上のことより、得点が15点となったことから、A評価とするもの。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和2元年度	令和3年度	令和4年度	
収入 (a)		392,106	393,077	407,116	
	指定管理料	370,656	370,656	370,656	
	料金収入の5%相当額	21,327	22,421	23,850	
	その他の収入	123	-	12,610	
支出 (b)		381,994	395,042	404,231	
	人件費	102,655	107,211	108,468	
	施設管理経費	245,319	260,371	264,311	
	本社管理経費	31,948	26,737	30,811	
	その他の支出	2,072	723	641	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		10,112	-1,965	2,885	
自主事業収入 (d)		4,520	5,774	6,926	
自主事業支出 (e)		5,410	3,468	3,579	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		-890	2,306	3,347	
全体収支 【(c)+(f)】		9,222	341	6,232	
備考	※千円未満は切り捨て処理、「-」はの表記は該当なし ※収入の項目中、「料金収入の5%相当額」については令和2年度の指定管理者より設けたインセンティブ制度				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施 (令和4年度分の報告書等を確認)
実施時期	令和4年12月12日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	—
危機管理	適正に実施	—
人員配置・地元活用	適正に実施	—
現金管理	適正に実施	—
会計・経理	適正に実施	—
情報セキュリティ	適正に実施	—
情報公開・個人情報保護	適正に実施	—
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	—
加点事由	具体的内容	
有	人員配置の変更及び管理事務所窓口への飛沫感染防止に係るビニールカーテンの設置等、新型コロナウイルス感染症対策を積極的かつ適切に行っていたほか、個人情報保護マニュアルの配備等により情報セキュリティを強化し、利用者の個人情報の適正な管理を図ることができていたため	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	-
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	-
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	各自転車駐車場のページにおいて、当該施設の位置を示す地図アプリへのリンクを設置し、利便性の向上を図っている。該当の無い取組項目については「-」と表示。

9 指定管理者の自己評価

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、昨年度の利用率を上回っており徐々に利用者が増えている。
- ・利用者の要望に応え、チャイルドシート付自転車の専用置場を拡充し、利便性の向上を図った。
- ・ホームページに定期利用の空き情報及び一日利用の空き情報を掲載することで、自転車駐車場の利便性向上を図った。
- ・橋本駅南口第2自転車駐車場における2段式自転車ラックの経年劣化が進んでいるものについて、更新を行った。また、上段ラックに安全カバーを取付け安全性の向上を図った。
- ・自転車駐車場のすべてに救急用品の充実を図り、場内のスタッフにも救急法の研修を行った。
- ・レンタサイクル（相模原駅南口）に電動アシスト付き自転車を6台導入した。

10 所管課意見

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した利用者数は、徐々に復調しているものの、未だコロナ禍前の水準には戻っていないが、本体事業収支が黒字となった点は評価できる。

利用者満足度調査において「満足」、「どちらかと言えば満足」の合計割合が96.7%と高評価をいただいた点は、利用者のニーズに合った適切な施設運営に努めた結果であると評価する。とりわけ自主事業において、当該ホームページ内に各施設の満空表示の掲載及び特殊な自転車・バイクへの駐車スペースの継続的な確保、橋本駅南口第2自転車駐車場のラック入替えやカバー取付の実施など、多様化する車体への対応と老朽化した設備の更新が、利用者の利便性の向上を図った点として優れていた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により近年中止となっていた、まち美化・路上喫煙防止合同キャンペーンへの参加等、地域社会へ貢献する取り組みを積極的に行なった点についても評価する。

施設運営に関しても、利用者との直接接触を軽減する予防的な取組みから、実際に施設従事者において新型コロナウイルス感染症陽性と診断された際の非常時対応に至るまで、組織として強靱かつ適切な運営がなされていた。

以上のことから総合的に判断して、指定管理業務は良好に履行されていると評価できる。新たな指定期間初年度となる令和5年度においても更なる施設運営の充実に期待したい。

11 選考委員会意見

自転車駐車場の指定管理運営については良好に履行されているといえる。

成果指標の達成度については、目標値の達成には至らなかったものの、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うテレワークの推進等の外的要因が大きく影響していると考えられる。指定管理者の利用者サービスの向上に資する事業展開により、利用者数が少しずつではあるが復調傾向にあるため、新たな指定管理期間においても利用しやすい施設運営に継続して取り組んでいただきたい。

事業の実施状況については、ラックの入替え等の設備の更新を行い、施設の安全利用の促進を継続して実施していた点や、自主事業としてレンタサイクルにて電動アシスト付き自転車の貸出しを開始するなど、利便性向上に繋がるサービスを拡充していた点が評価できる。

利用者の満足度については、前年度より若干減少したものの、高い達成度を維持継続していることや、過去のモニタリング時に指定管理者に対して指摘した「利用者満足度調査の結果を反映した事業をすること」についても照明設備のLED化やラックの入替えなどの対応を行っている点が評価できる。

施設の経営状況について、令和3年度は本体事業収支が赤字となっていたが、令和4年度において本体事業収支、全体事業収支ともに黒字とすることができた点について高く評価できる。

管理業務の履行状況については、履行管理チェックシートを基に市が現地調査を実施した結果、いずれの検査項目についても適正に実施されていることが確認できた。加えて、危機管理マニュアルや個人情報保護マニュアルの配備により、有事の際の体制構築を行っている点が評価できる。

新たな指定管理期間においても引き続き、安全面の充実に向けた取組みと、施設を心地よく利用していただくために利用者に寄り添った取組みをバランスよく提供できるよう、更なる創意工夫に励んでいただきたい。

総合評価（自動判定）

A

(70/100)

